

2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社タカトリ 上場取引所 東
コード番号 6338 URL https://www.takatori-g.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 誠
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 重富 謙一 TEL 0744-24-8580
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の業績 (2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	4,177	—	△96	—	△43	—	△6	—
2025年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	△1.29	—
2025年9月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2025年9月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、2026年9月期第2四半期連結決算において連結子会社であった高鳥（常熟）精密機械有限公司の清算が終了したことに伴い、2026年9月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2025年9月期第3四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	15,300	9,862	64.5
2025年9月期	15,933	10,258	64.4

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 9,862百万円 2025年9月期 10,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期（予想）				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	△2.9	430	△46.1	460	△45.1	330	△45.3	60.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	5,491,490株	2025年9月期	5,491,490株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	158,321株	2025年9月期	41,021株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	5,347,719株	2025年9月期3Q	5,460,095株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第3四半期累計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

なお、前第3四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における世界経済は、中東情勢の不安定化を受けてエネルギー価格の高騰や資源供給制約・サプライチェーンの混乱が続き、減速の兆しがみられております。

米国では、データセンターなどのAI関連投資の拡大が景気を牽引しており堅調さを維持している一方、それによる電力需要の逼迫が発生し、企業の投資・生産活動への影響が懸念されております。

欧州では、南欧経済が好調である一方、英国の政治不安や資源価格の上昇により景気の減速がみられております。

中国では、ASEAN向け中間財輸出やEU向け自動車輸出が好調である一方、インフラ投資の一段落や製造業の設備投資の低迷に伴う内需不振により、景気の減速局面に入っております。

一方、国内経済は、省力化・効率化推進の潮流に加え、資源循環や脱炭素の取り組み機運の高まりがみられており、緩やかな拡大兆候がみられるものの、依然として地政学リスクの長期化による先行きの不透明感を抱えております。

このような経済環境の中、当社が関わる電子部品業界におきましては、堅調な半導体需要を背景とした生産用機械工業の生産活動に活発な動きがみられておりますが、パワー半導体の一時的な市場鈍化の影響を受けて、当社の電子機器事業につきましては低調に推移いたしました。一方、繊維機器事業および医療機器事業につきましては、堅調に推移いたしました。

損益面につきましては、製造コストの低減と諸経費の圧縮に努めてまいりましたが、電子機器事業の売上高の減少が大きく影響しました結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,177百万円、営業損失は96百万円、経常損失は43百万円、四半期純損失は6百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子機器事業)

半導体製造機器では、ディスクリット半導体や電子部品向け製造装置の販売に加え、先端半導体向け製造装置の受注も獲得しました。しかしながら、AI半導体関連市場において急速な拡大がみられるものの、当社装置については該当投資領域とは異なるため需要は限定的であること、加えて海外ユーザー向けの装置販売が減少したことから、売上は低調に推移いたしました。

新素材加工機器では、納入済装置のメンテナンスやパーツ販売が堅調に推移いたしました。一方で、新規装置販売は、顧客の生産状況および装置稼働率には改善の兆しが見られるものの、計画通りの進捗にとどまり、全体の売上は低調に推移いたしました。

ディスプレイ製造機器では、地政学的緊張や原材料費の上昇などが市場に影響し、コンシューマー製品用デバイスの装置受注が減少しましたが、真空貼合技術を使った電子部品材料製造装置や電池分野向けの関連装置などの販売があり、売上は堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は3,826百万円、セグメント利益13百万円となりました。

(繊維機器事業)

繊維機器事業では、国内縫製業における繊維製品の国産比率が引き続き低水準で推移していることから、依然として厳しい状況が続いております。一方、既設置のメンテナンスや更新の需要があったことを受け、売上は堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は101百万円、セグメント損失5百万円となりました。

(医療機器事業)

医療機器事業では、他の医療機器並びに健康機器メーカーとの連携のもと、継続的に医療機器および健康機器の開発を行っており、開発完了したOEM製品の販売が引き続き好調に推移いたしました。また、「胸腹水濾過濃縮装置M-CART」につきましては、学会出展や企業セミナーを通じた情報発信を行うとともに、医療機関への販売、レンタルおよび試用貸出しを継続的に実施しております。これらの取り組みの結果、売上は堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は249百万円、セグメント損失104百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて632百万円減少し、15,300百万円（前事業年度末は15,933百万円）となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて624百万円減少し、12,163百万円（前事業年度末は12,787百万円）となりました。これは、主に現金及び預金が241百万円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が569百万円減少、棚卸資産が365百万円増加等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて7百万円減少し、3,137百万円（前事業年度末は3,145百万円）となりました。これは、主に有形固定資産が68百万円減少、投資有価証券が253百万円増加、関係会社出資金が200百万円減少等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて235百万円減少し、5,438百万円（前事業年度末は5,674百万円）となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて228百万円減少し、5,384百万円（前事業年度末は5,613百万円）となりました。これは、主に電子記録債務が79百万円減少、契約負債が33百万円減少、その他が95百万円減少等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて7百万円減少し、53百万円（前事業年度末は61百万円）となりました。これは、主にその他が7百万円減少等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて396百万円減少し、9,862百万円（前事業年度末は10,258百万円）となりました。これは、主に剰余金の配当の支払等による利益剰余金224百万円の減少、自己株式の取得による支出185百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績につきましては、「(1) 当四半期の経営成績の概況」のとおりです。通期の業績予想につきましては、2026年5月14日の「特別利益の計上および第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異並びに非連結決算移行に伴う2026年9月期通期業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました数値に現時点で変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,954,215	4,712,494
受取手形、売掛金及び契約資産	2,181,579	1,612,156
電子記録債権	33,142	237,920
仕掛品	1,167,560	1,666,672
原材料及び貯蔵品	3,996,492	3,862,821
その他	469,796	71,105
貸倒引当金	△14,908	—
流動資産合計	12,787,879	12,163,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	825,686	780,213
機械及び装置（純額）	173,859	155,392
土地	782,307	782,307
その他（純額）	74,653	70,588
有形固定資産合計	1,856,506	1,788,502
無形固定資産	18,418	14,327
投資その他の資産		
投資有価証券	840,103	1,093,284
関係会社出資金	200,484	—
繰延税金資産	85,613	96,889
その他	144,282	144,664
投資その他の資産合計	1,270,483	1,334,839
固定資産合計	3,145,408	3,137,669
資産合計	15,933,288	15,300,840

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	481,555	471,402
電子記録債務	529,220	449,487
契約負債	110,081	76,640
短期借入金	4,100,000	4,100,000
未払法人税等	6,554	4,528
賞与引当金	64,491	60,290
製品保証引当金	20,074	17,216
その他	301,335	205,369
流動負債合計	5,613,313	5,384,935
固定負債		
資産除去債務	34,214	34,558
その他	26,871	19,170
固定負債合計	61,085	53,728
負債合計	5,674,399	5,438,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	7,902,750	7,677,828
自己株式	△32,771	△218,231
株主資本合計	10,185,530	9,775,149
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,358	87,027
評価・換算差額等合計	73,358	87,027
純資産合計	10,258,889	9,862,176
負債純資産合計	15,933,288	15,300,840

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,177,770
売上原価	3,195,562
売上総利益	982,208
販売費及び一般管理費	1,078,701
営業損失(△)	△96,493
営業外収益	
受取利息	5,727
受取配当金	44,586
貸倒引当金戻入額	14,908
その他	23,847
営業外収益合計	89,069
営業外費用	
支払利息	29,505
減価償却費	3,403
その他	3,235
営業外費用合計	36,144
経常損失(△)	△43,567
特別利益	
子会社清算益	44,340
特別利益合計	44,340
特別損失	
その他	54
特別損失合計	54
税引前四半期純利益	718
法人税、住民税及び事業税	25,142
法人税等調整額	△17,520
法人税等合計	7,621
四半期純損失(△)	△6,902

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間（自2025年10月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	電子機器事業	繊維機器事業	医療機器事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	3,826,735	101,749	249,286	4,177,770
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,826,735	101,749	249,286	4,177,770
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,826,735	101,749	249,286	4,177,770
セグメント利益又はセグメント損失(△)	13,403	△5,062	△104,833	△96,493

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年7月25日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期累計期間に自己株式117,300株の取得を行いました。以上の結果、自己株式が185,460千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が218,231千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	99,519千円

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社は、当第3四半期累計期間より非連結決算へ移行したことから、前第3四半期累計期間及び前事業年度との比較は行っておりません。

(1) 生産実績

セグメントの 名称	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)		前事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	-	-	3,826,735	91.6	-	-
繊維機器事業	-	-	101,749	2.4	-	-
医療機器事業	-	-	249,286	6.0	-	-
合計	-	-	4,177,770	100.0	-	-

(注) 金額は販売価格によっております。

(2) 受注状況

セグメントの 名称	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)		前事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
電子機器事業	-	-	4,299,161	3,961,944	-	-
繊維機器事業	-	-	92,699	30,780	-	-
医療機器事業	-	-	361,547	371,412	-	-
合計	-	-	4,753,408	4,364,137	-	-

(注) 金額は販売価格によっております。

(3) 販売実績

セグメントの 名称	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)		前事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	-	-	3,826,735	91.6	-	-
繊維機器事業	-	-	101,749	2.4	-	-
医療機器事業	-	-	249,286	6.0	-	-
合計	-	-	4,177,770	100.0	-	-

主要な輸出先及び輸出販売高及び構成比は、次のとおりであります。

なお、() 内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)		前事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
アジア	-	-	1,157,510	73.5	-	-
その他の地域	-	-	417,480	26.5	-	-
合計	- (-%)	-	1,574,990 (37.7%)	100.0	- (-%)	-